

国内自転車生産・輸出入状況（平成27年1～3月）

1. はじめに

このレポートは、我が国の自転車生産及び輸出入状況を総合的に分析することにより、我が国自転車市場の動向を明らかにすることを目的としている。まず経済産業省の生産動態統計を活用し、国内の自転車生産企業の生産状況を把握したうえで、出荷・在庫状況を含めた総合的な生産活動状況について説明し、更に時系列的な推移を示す。続いて、現在我が国の自転車市場においては輸入車が大きな割合を占めているため、財務省貿易統計を用い車種別及び時系列的輸入状況を明らかにし自転車市場の趨勢をつかんだうえで、生産状況と併せて我が国自転車市場の動向を包括的に解説する。最後に、中古車が主体となっている我が国の自転車輸出状況について簡単に言及する。

なお、平成27年1～3月の生産台数、生産金額及び輸入台数は前年同期に比較し、かなり大幅に減少している。この減少については、前年同期である平成26年1～3月に、消費税引上げ前の需要増に対応するための生産及び輸入の増加があったとみられることが影響しているものと思われる。

2. 我が国の自転車生産

2-1 平成27年1～3月の生産状況の概要

経済産業省生産動態統計調査によると、平成27年1～3月の我が国の完成自転車生産台数は249,855台、完成自転車生産金額は121億5,700万円であった。これらを前年同期と比較すると、総生産台数は10.2%減、総生産金額も9.2%減となっている。また平成27年1～3月の完成自転車生産平均単価は48,656円となっており、前年同期の48,104円から1.1%上昇した。この模様を表1に示す。

表1 平成27年1～3月の我が国自転車生産 前年同期との比較

	総生産台数	総生産金額(百万円)	平均単価(円)
平成27年1～3月	249,855	12,157	48,656
平成26年1～3月	278,336	13,389	48,104
変化	-28,481	-1,232	552
変化%	-10.2%	-9.2%	1.1%

出典：経済産業省生産動態統計調査（平成26年数値は改定値）、
加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

平成27年1～3月の車種別の生産状況を前年同期と比較したものが表2である。「軽快車」のほか、「電動アシスト車」も減少していることが示されている。

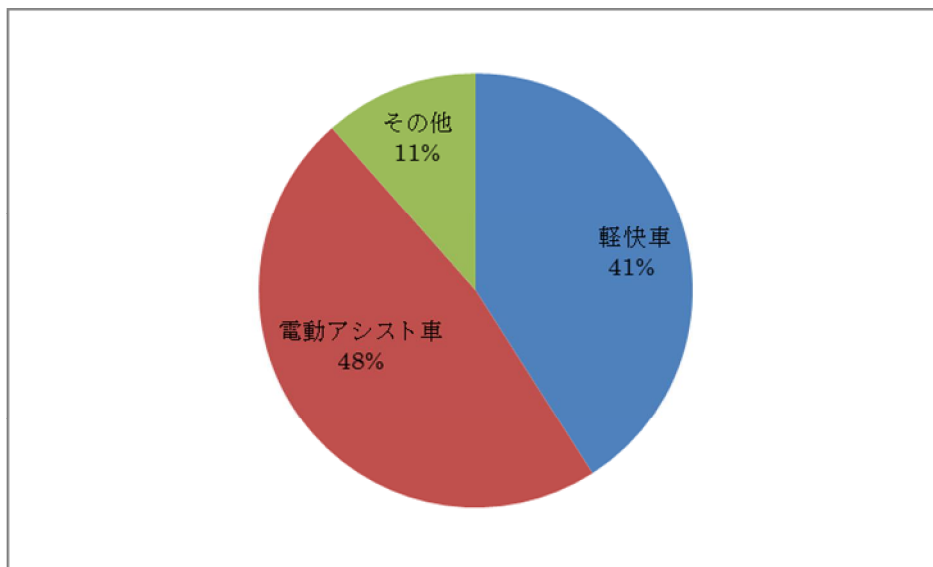
表2 車種別生産状況 平成27年1～3月と平成26年1～3月との比較

1～3月 車種	平成27年		平成26年		変化			
	台数	金額 (百万円)	台数	金額 (百万円)	台数	%	金額 (百万円)	%
軽快車	102,324	2,717	116,929	2,766	-14,605	-12.5	-49	-1.8
電動アシスト車	118,751	8,556	132,842	9,763	-14,091	-10.6	-1,207	-12.4
その他	28,780	885	28,565	861	215	0.8	24	2.8
計	249,855	12,157	278,336	13,389	-28,481	-10.2	-1,232	-9.2

出典：経済産業省生産動態統計調査（平成26年数値は改定値）、
加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

表2を基に平成27年1～3月の車種別の生産台数の割合をグラフで示したものが図Aである。「電動アシスト車」が48%を占め、次いで「軽快車」が41%を占めている。

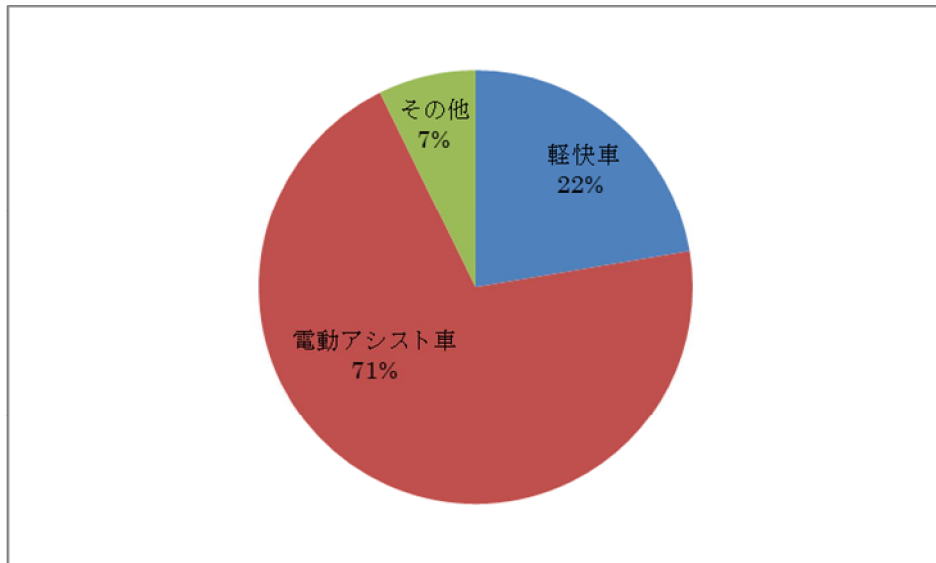
図A 平成27年1～3月 車種別生産台数の割合



出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

また同様に、表2を基に平成27年1～3月の車種別の生産金額の割合をグラフで示したものが図Bである。「電動アシスト車」が71%を占めている。

図 B 平成 27 年 1～3 月 車種別生産金額の割合



出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

次に車種別の生産平均単価について、平成 27 年 1～3 月と平成 26 年 1～3 月とを比較した表 3 を示す。3 つの車種の中で「電動アシスト車」の生産平均単価だけが下落していることがわかる。

表 3 車種別生産平均単価 平成 27 年 1～3 月と平成 26 年 1～3 月との比較

車種	平成 27 年 1～3 月 生産平均単価(円)	平成 26 年 1～3 月 生産平均単価(円)	変化 (円)	変化(%)
軽快車	26,553	23,655	2,898	12.2
電動アシスト車	72,050	73,493	-1,443	-2.0
その他	30,751	30,142	609	2.0
計	48,656	48,104	552	1.1

出典：経済産業省生産動態統計調査（平成 26 年数値は改定値）、
加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

月毎の「電動アシスト車」の生産台数・金額・平均単価を調べてみると表 4 の通りとなる。今年に入り生産台数・金額とも前年同月比減少が続いている。

表4 「電動アシスト車」の月毎の生産状況 平成27年と平成26年との比較

	平成27年			平成26年			生産台数の変化(台)	生産金額の変化(百万円)	平均単価の変化(円)
	生産台数(台)	生産金額(百万円)	平均単価(円)	生産台数(台)	生産金額(百万円)	平均単価(円)			
1月	37,302	2,547	68,281	39,834	2,930	73,555	-2,532	-383	-5,275
2月	36,666	2,837	77,374	42,915	3,124	72,795	-6,249	-287	4,579
3月	44,783	3,172	70,830	50,093	3,709	74,042	-5,310	-537	-3,212
1～3月	118,751	8,556	72,050	132,842	9,763	73,493	-14,091	-1,207	-1,443

出典：経済産業省生産動態統計調査（平成26年数値は改定値）、
加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

2-2 我が国自転車生産企業の総合的な生産・出荷・在庫状況

平成27年1～3月における、「生産」「受入」「出荷(販売及びその他)」、そして「月末在庫」も含んだ総合的な生産・販売状況について、前年同期と比較したものが表5である。

表5 我が国自転車生産企業の生産・出荷・在庫状況
平成27年1～3月と平成26年1～3月との比較

車種	生産		受入(台)	出荷			3月末在庫(台)
	台数	金額(百万円)		販売		その他(台)	
				台数	金額(百万円)		
平27.1～3 軽快車	102,324	2,717	261,018	247,211	4,709	139,532	69,392
平26.1～3 軽快車	116,929	2,766	308,102	341,111	5,699	132,567	74,096
変化%	-12.5	-1.8	-15.3	-27.5	-17.4	5.3	-6.3
平27.1～3 電動アシスト車	118,751	8,556	88,266	127,348	9,118	88,070	21,964
平26.1～3 電動アシスト車	132,842	9,763	93,859	143,910	10,053	93,441	14,374
変化%	-10.6	-12.4	-6.0	-11.5	-9.3	-5.7	52.8
平27.1～3 その他	28,780	885	100,775	87,740	1,985	31,096	44,186
平26.1～3 その他	28,565	861	99,138	95,564	1,957	34,156	39,972
変化%	0.8	2.8	1.7	-8.2	1.4	-9.0	10.5
平27.1～3 全車種計	249,855	12,157	450,059	462,299	15,813	258,698	135,542
平26.1～3 全車種計	278,336	13,389	501,099	580,585	17,708	260,164	128,442
変化%	-10.2	-9.2	-10.2	-20.4	-10.7	-0.6	5.5

出典：経済産業省生産動態統計調査（平成26年数値は改定値）、
加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

「受入」台数についてみると、平成27年1～3月の全車種の「受入」台数は平成26年1～3月の「受入」台数に比べ10.2%減少した。車種別には、「軽快車」が15.3%減少したほか、「電動アシスト車」の「受入」台数も6.0%減少した。

次に「出荷・販売」台数についてみると、平成27年1～3月の全車種の「出荷・販売」台数は平成26年1～3月のそれに比べ20.4%減少した。全ての車種で減少している。

「出荷・販売」金額については、全車種の「出荷・販売」金額は10.7%減少し、車種別では「軽快車」が17.4%、「電動アシスト車」が9.3%各々減少した。

平成27年1～3月の全車種の「出荷・その他」台数は、平成26年1～3月のそれに比べ0.6%減少した。車種別にみると、「軽快車」が5.3%増加した一方で、「電動アシスト車」が5.7%、「その他」が9.0%各々減少した。尚、「出荷・その他」とは受託生産品を委託生産業者へ出荷する等したものである。

「月末在庫」については、平成27年3月の全車種の「月末在庫」台数は135,542台で、前年同月の128,442台から5.5%増加している。

2-3 1～3月の生産状況の過去10年間の推移

表6に平成18年から平成27年まで過去10年間の毎年1～3月の我が国の自転車生産、出荷及び3月末在庫台数の推移を示す。

表6 我が国自転車生産企業の毎年1～3月の自転車生産・出荷及び3月末在庫の過去10年間の推移

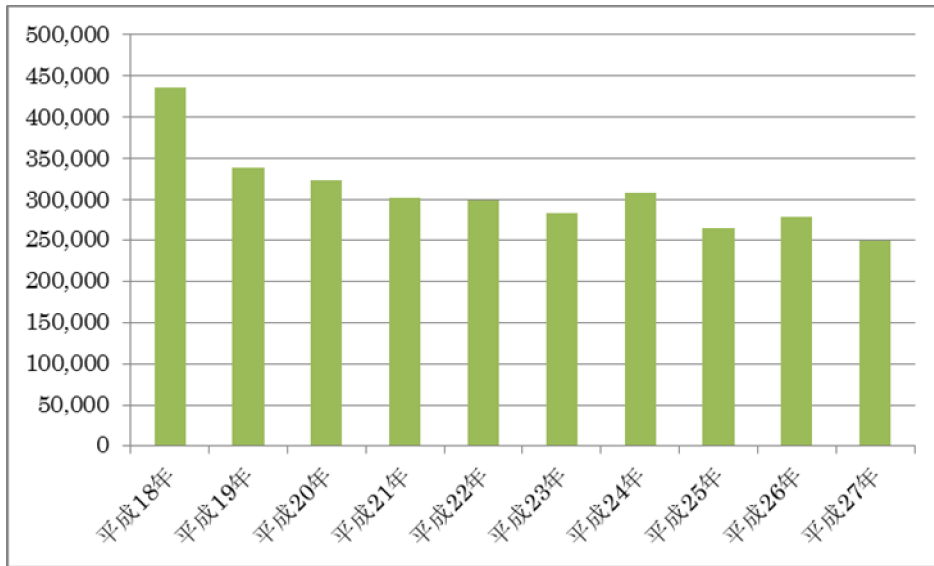
1～3月	生産			出荷			3月末在庫 台数(台)
	台数(台)	金額 (百万円)	平均単価 (円)	台数(台)	金額 (百万円)	平均単価 (円)	
平成27年	249,855	12,157	48,656	462,299	15,813	34,205	135,542
平成26年	278,336	13,389	48,104	580,585	17,708	30,500	128,442
平成25年	264,751	11,572	43,709	565,284	15,672	27,724	204,761
平成24年	308,426	12,688	41,138	812,892	18,481	22,735	213,991
平成23年	283,461	11,345	40,023	890,844	19,097	21,437	143,353
平成22年	299,871	10,345	34,498	857,346	17,167	20,023	197,543
平成21年	302,897	9,138	30,169	887,807	16,529	18,618	201,479
平成20年	324,543	7,698	23,720	1,016,304	15,574	15,324	215,025
平成19年	338,671	7,117	21,014	1,069,225	14,114	13,200	214,321
平成18年	435,978	8,134	18,657	1,188,506	14,653	12,329	238,679

出典：経済産業省生産動態統計調査（平成26年以前の数値は改定値）、
加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

平成27年1～3月の「生産台数」は過去10年間で最低となっている。一方、「生産金額」は過去10年間で3番目となっている。これらのことから「生産平均単価」は過去10年間で最高である。また平成27年1～3月の「出荷台数」は過去10年間で最低で、「出荷金額」は過去10年間で6番目であった。「出荷平均単価」は過去10年間で最高となっている。また「生産平均単価」と「出荷平均単価」とを比べると「生産平均単価」の方が10年間一貫して高くなっている。「3月末在庫台数」は135,542台で、過去10年間で2番目に少なくなっている。

表6を基に平成18年から平成27年までの過去10年間の毎年1～3月の生産台数の推移をグラフで示したものが図Cである。生産台数は減少傾向にあることが示されている。

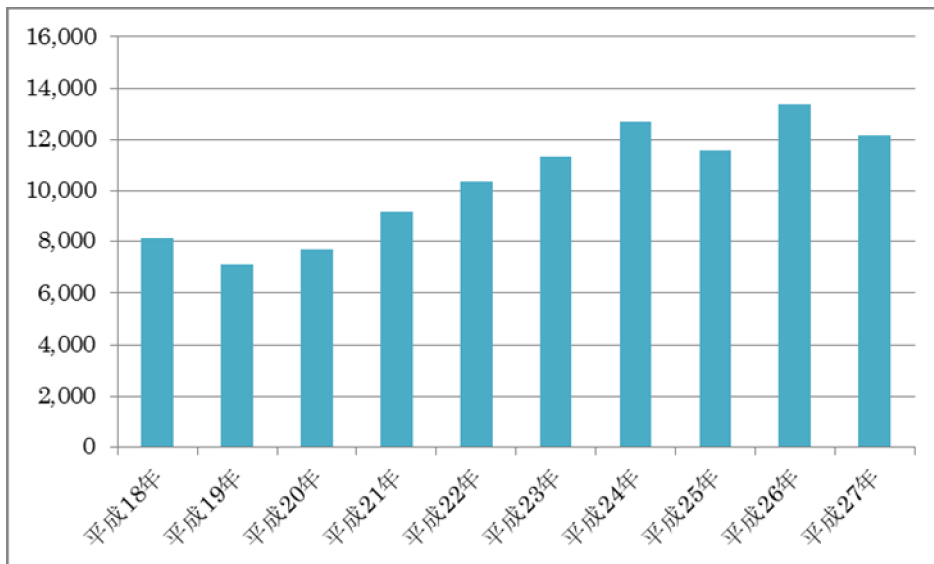
図 C 1～3月の我が国自転車生産台数の過去10年間の推移(単位：台)



出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

同様に、表6を基に平成18年から平成27年までの過去10年間の毎年1～3月の生産金額の推移をグラフで示したものが図Dである。生産金額の増加傾向に歯止めがかかりつつあるようにも見受けられる。

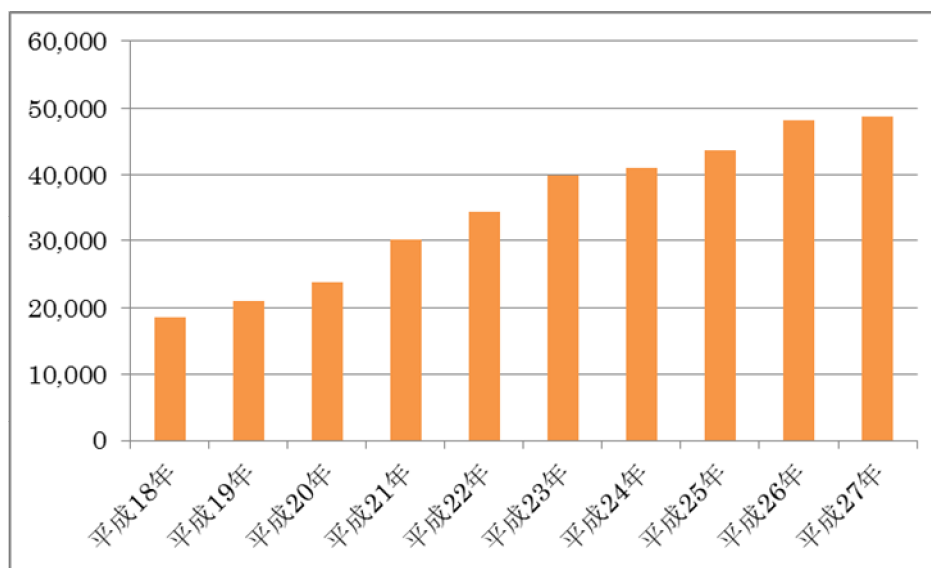
図 D 1～3月の我が国自転車生産金額の過去10年間の推移(単位：百万円)



出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

更に、表6を基に平成18年から平成27年までの過去10年間の毎年1～3月の生産平均単価の推移をグラフで示したものが図Eである。

図 E 1～3月の我が国自転車生産平均単価の過去10年間の推移(単位：円)



出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

次に、月毎の総生産台数の過去10年間の推移を表7に示す。

表7 月毎の総生産台数の過去10年間の推移(単位：台)

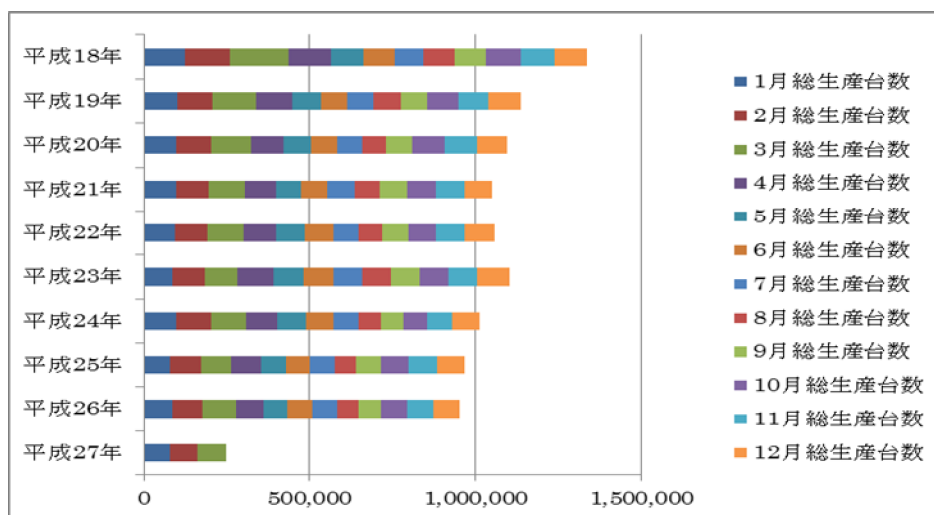
年	1月総生産台数	2月総生産台数	3月総生産台数	4月総生産台数	5月総生産台数	6月総生産台数
平成27年	78,891	81,242	89,722			
平成26年	84,512	93,408	100,416	83,216	72,121	74,255
平成25年	79,022	92,667	93,062	88,877	75,906	71,711
平成24年	96,874	105,350	106,202	95,001	85,528	83,915
平成23年	86,445	98,081	98,935	107,181	90,542	92,009
平成22年	93,923	99,424	106,524	98,097	87,516	86,269
平成21年	96,944	99,314	106,639	94,506	76,287	80,900
平成20年	97,728	104,912	121,903	96,456	82,921	78,520
平成19年	99,537	108,413	130,721	108,017	86,039	81,714
平成18年	124,909	133,470	177,599	128,017	97,944	93,522

年	7月総生産台数	8月総生産台数	9月総生産台数	10月総生産台数	11月総生産台数	12月総生産台数	総生産台数
平成27年							249,855
平成26年	74,981	62,167	68,705	81,603	78,727	77,437	951,548
平成25年	72,325	66,889	74,392	82,781	84,937	83,385	965,954
平成24年	74,820	65,045	68,721	73,476	73,695	83,687	1,012,314
平成23年	83,200	86,553	88,460	86,528	87,020	96,712	1,101,666
平成22年	75,897	72,056	77,555	82,694	86,498	90,498	1,056,951
平成21年	80,068	76,206	81,360	88,312	85,103	83,830	1,049,469
平成20年	76,552	70,488	80,661	95,816	98,763	90,212	1,094,932
平成19年	79,147	79,509	81,679	91,745	93,341	95,744	1,135,606
平成18年	87,738	94,248	94,359	105,347	99,636	97,723	1,334,512

出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表7の月毎の総生産台数の過去10年間の推移をグラフにより示したものが図Fである。各月、比較的均等に生産が行われている様子がわかる。

図F 月毎の総生産台数の過去10年間の推移（単位：台）



出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

更に1~3月の車種別の生産台数の過去10年間の推移を表8に示す。

表8 1～3月の車種別生産台数の過去10年間の推移（単位：台）

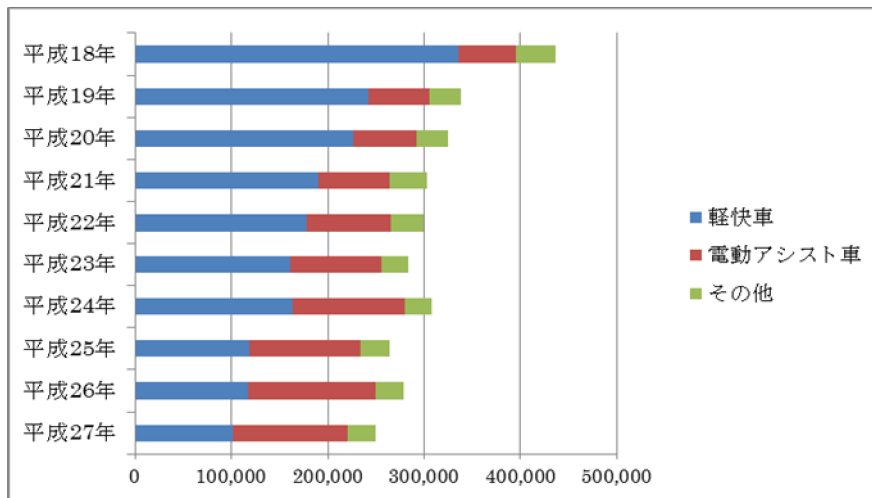
年	軽快車	電動アシスト車	その他
平成27年	102,324	118,751	28,780
平成26年	116,929	132,842	28,565
平成25年	118,317	116,175	30,259
平成24年	163,515	116,341	28,570
平成23年	160,600	95,370	27,491
平成22年	178,147	87,177	34,547
平成21年	189,774	74,861	38,262
平成20年	226,210	66,077	32,256
平成19年	242,133	62,966	33,572
平成18年	335,501	59,170	41,307

平成23年から従来の「子供車及び幼児車」、「ミニサイクル」、「マウンテンバイク」、「特殊車」を統合し、「その他」と名称変更。平成18年から平成22年までの「その他」の数値は、これら4区分の合計数値。

出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表8に示した1～3月の車種別の生産台数の過去10年間の推移をグラフにより示したものが図Gである。「軽快車」が減少し「電動アシスト車」が増加している様子が示されている。

図G 1～3月の車種別生産台数の過去10年間の推移



出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

3. 我が国の自転車輸入

以下に輸入状況を示していくが、我が国の輸入における関税番号及び車種については次の通り分類されている。尚、電動アシスト車は独立した輸入関税区分が立てられておらず、「その他のモーターサイクル」の中に含まれている。しかし「その他のモーターサイクル」には、関税区分上の上位各区分に該当しない各種モーターサイクルや電動オートバイ等も含まれているので注意が必要である。

表9 輸入における車種区分 関税番号

関税番号／品名区分	車種
8712.00100 マウンテンバイク	・MTB(Vブレーキ・Diskブレーキ装着車を含む) ・クロスバイク
8712.00211 ミニサイクル	・ミニサイクル ・小径折りたたみ車 ・BMX
8712.00218 幼児車	・幼児車(12～16吋) ・乗用玩具(12吋二輪車) ・一輪車(12～16吋)
8712.00219 子供車	・子供車(18～24吋) ・Jr.MTB(18～24吋) ・一輪車(18～24吋)
8712.00291 軽快車	・軽快車(外装変速機付は含まない) ・シングル、内装変速機付スポーツ車
8712.00299 その他	・スポーツ車 ・外装変速機付軽快車 ・Jr.MTB(26吋)
8711.90000 その他のモーターサイクル	・その他のモーターサイクル、補助原動機付きの自転車、及びサイドカー。電動アシスト車がこの区分の中に含まれる

出典：一般財団法人自転車産業振興協会

3-1 平成27年1～3月の輸入状況の概要

表10は、平成27年1～3月の「その他のモーターサイクル」を除く全ての車種の自転車の我が国への輸入について、前年同期と比較しながら示したものである。総台数は2,277,256台となり前年同期の2,626,492台から13.3%減少した。一方、総CIF金額は30,021,500千円となり前年同期比5.4%増加した。これらの結果、平均CIF単価は13,183円となり前年同期比21.6%と大きく上昇した。

但しこの間のドル円為替レートを見ると、平成26年1～3月の平均レートはUS1\$=JPY103.22であったのに対し、平成27年1～3月の平均レートはUS1\$=JPY119.14(ともに税関長公示レートを参考にした)と、15.4%も円安になっている。この円安の進行が同期間の平均CIF単価の上昇につながっているとみられる。

表10 平成27年1～3月の我が国の自転車輸入 平成26年1～3月との比較
(「その他のモーターサイクル」を含まない)

	総台数(台)	総CIF金額(千円)	平均CIF単価(円)
平成27年1～3月	2,277,256	30,021,500	13,183
平成26年1～3月	2,626,492	28,479,177	10,843
変化	-349,236	1,542,323	2,340
変化%	-13.3	5.4	21.6

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

参考まで平成27年1～3月の我が国の「その他のモーターサイクル」の輸入の様態を附表に示した。

表10附表 参考 平成27年1～3月の我が国の
「その他のモーターサイクル」の輸入 平成26年1～3月との比較

	総台数(台)	総CIF金額(千円)	平均CIF単価(円)
平成27年1～3月	11,581	461,264	39,829
平成26年1～3月	15,612	616,140	39,466
変化	-4,031	-154,876	364
変化%	-25.8	-25.1	0.9

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

3-2 平成27年1～3月の車種別輸入状況

表11は平成27年1～3月の我が国の自転車輸入に関し、車種別の状況を示したものである。

表11 平成27年1～3月 我が国の車種別自転車輸入

関税番号及び車種	総台数(台)	総CIF金額(千円)	平均CIF単価(円)
8712.00100 マウンテンバイク	57,459	1,483,996	25,827
8712.00211 ミニサイクル	36,331	416,882	11,475
8712.00218 幼児車	115,495	943,835	8,172
8712.00219 子供車	441,698	4,751,532	10,757
8712.00291 軽快車	857,838	9,875,007	11,512
8712.00299 その他	768,435	12,550,248	16,332
計	2,277,256	30,021,500	13,183

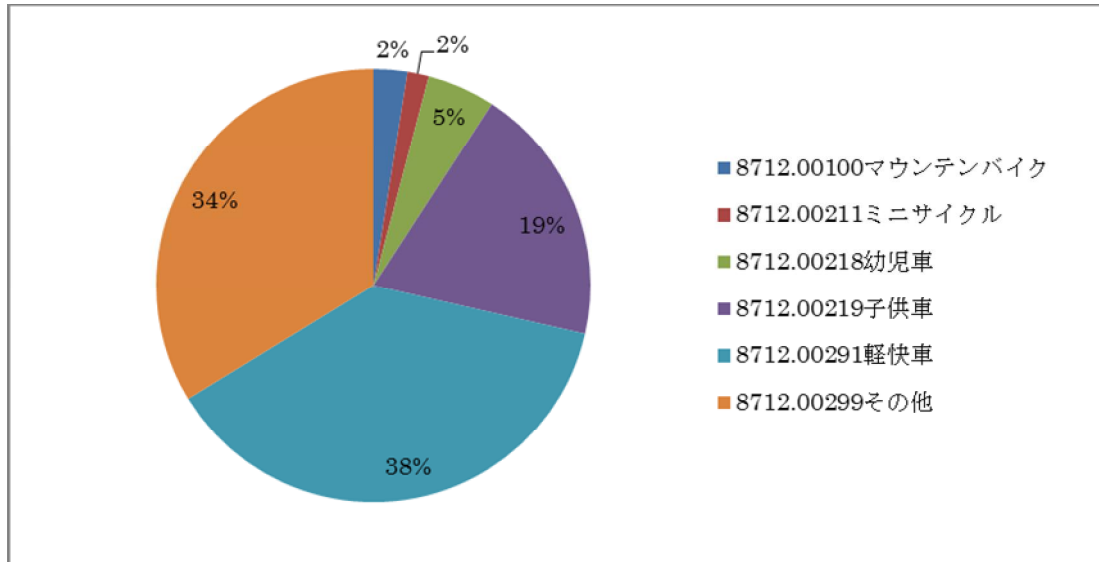
8711.90000 その他のモーターサイクル	11,581	461,264	39,829
-------------------------	--------	---------	--------

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

8712.00100に分類される「マウンテンバイク」は、平均CIF単価が25,827円と「その他のモーターサイクル」を除き最も高くなっている。8712.00291に分類される「軽快車」は最も台数が多く、平均CIF単価は11,512円となっている。また8712.00299に分類される「その他」にはスポーツ車や外装変速機付軽快車等が含まれるが、台数は「軽快車」に迫っており、総CIF金額は各輸入車種区分の中で最も多くなっている。平均CIF単価は16,332円である。

表11を基に、平成27年1～3月の我が国自転車輸入について車種別の台数割合をグラフにより示したものが図Hである。「軽快車」が38%を占め、次いで「その他」が34%を占めている。

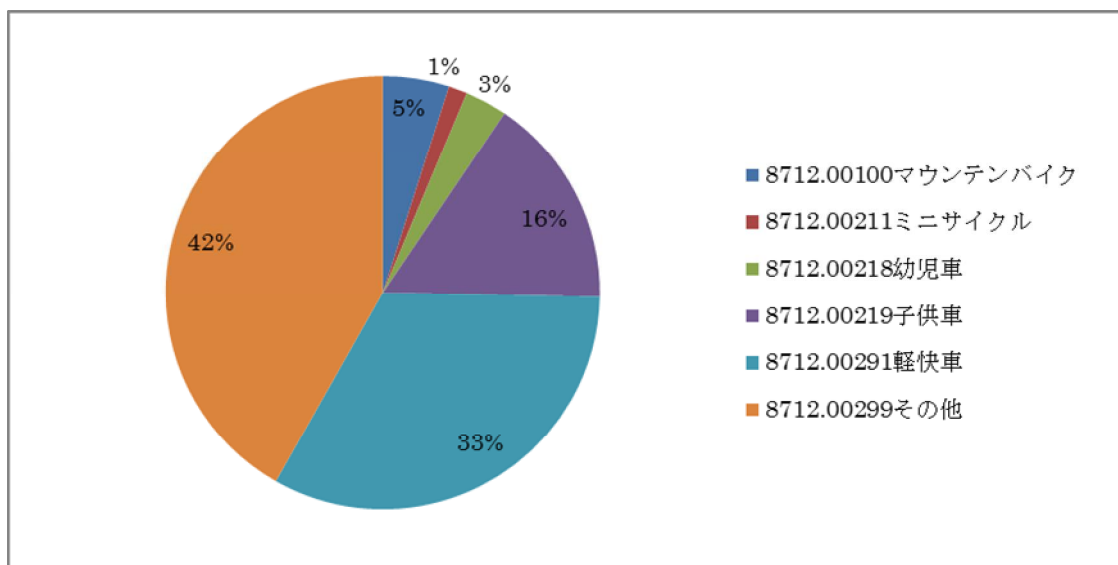
図 H 平成 27 年 1～3 月の我が国自転車輸入 車種別台数割合
 (「その他のモーターサイクル」を含まない)



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

同様に表 1 1 を基に、平成 27 年 1～3 月の我が国自転車輸入について車種別の金額割合をグラフにより示したものが図 I である。「その他」が 42%、「軽快車」が 33%と大きな割合を占めている。

図 I 平成 27 年 1～3 月の我が国自転車輸入 車種別 CIF 金額の割合
 (「その他のモーターサイクル」を含まない)



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表 1 2 は平成 27 年 1～3 月の我が国の車種別自転車輸入について前年同期と比較しながら示したものである。

表 1 2 我が国の車種別自転車輸入 平成 27 年 1～3 月と平成 26 年 1～3 月との比較

1～3 月 車種	平成 27 年		平成 26 年		変化 %	
	台数	CIF 金額(千円)	台数	CIF 金額(千円)	台数	CIF 金額
8712.00100 マウンテンバイク	57,459	1,483,996	73,179	1,357,313	-21.5%	9.3%
8712.00211 ミニサイクル	36,331	416,882	40,807	469,823	-11.0%	-11.3%
8712.00218 幼児車	115,495	943,835	152,613	1,180,247	-24.3%	-20.0%
8712.00219 子供車	441,698	4,751,532	522,810	4,667,237	-15.5%	1.8%
8712.00291 軽快車	857,838	9,875,007	1,029,951	10,125,330	-16.7%	-2.5%
8712.00299 その他	768,435	12,550,248	807,132	10,679,227	-4.8%	17.5%
計	2,277,256	30,021,500	2,626,492	28,479,177	-13.3%	5.4%
平均単価(円)		13,183		10,843		21.6%
8711.90000 その他のモーター サイクル	11,581	461,264	15,612	616,140	-25.8%	-25.1%
平均単価(円)		39,829		39,466		0.9%

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

全ての車種で台数が減少した。その中で「マウンテンバイク」、「子供車」及び「その他」は金額が増加していることがわかる。

3-3 1～3 月の輸入状況の過去 15 年間の推移

表 1 3 は毎年 1～3 月の我が国の自転車輸入の過去 15 年間の推移を示したものである。

表 1 3 毎年 1～3 月の我が国の自転車輸入の過去 15 年間の推移 全車種
 (「その他のモーターサイクル」を含まない)

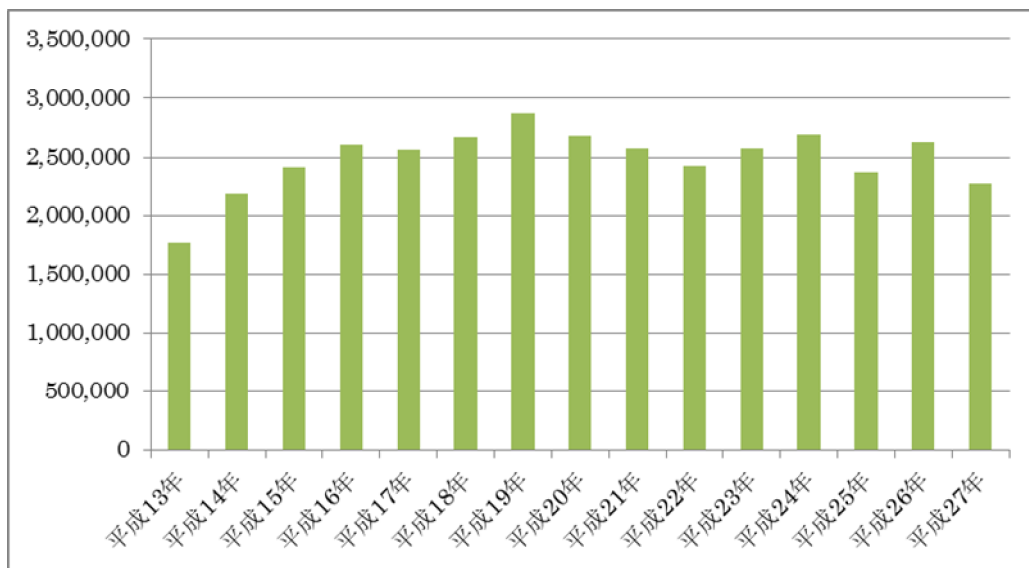
年	総輸入台数	総 CIF 金額 (千円)	平均 CIF 単価(円)
平成 27 年	2,277,256	30,021,500	13,183
平成 26 年	2,626,492	28,479,177	10,843
平成 25 年	2,373,370	23,483,404	9,895
平成 24 年	2,695,555	22,695,025	8,419
平成 23 年	2,580,156	20,269,931	7,856
平成 22 年	2,428,569	19,462,552	8,014
平成 21 年	2,576,224	22,705,053	8,813
平成 20 年	2,684,045	22,666,563	8,445
平成 19 年	2,877,065	23,273,025	8,089
平成 18 年	2,670,732	19,943,370	7,467
平成 17 年	2,563,991	16,336,547	6,372
平成 16 年	2,603,967	15,845,606	6,085
平成 15 年	2,414,612	16,396,236	6,790
平成 14 年	2,196,940	16,621,325	7,566
平成 13 年	1,767,054	13,782,947	7,800

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

平成 27 年 1～3 月の総輸入台数は、過去 15 年間で平成 14 年以来 3 番目に少なくなっている。一方、平成 27 年 1～3 月の総 CIF 金額は過去 15 年間で最高である。これらの事から平均 CIF 単価は 13,183 円となり、これも過去 15 年間で最高となっている。

表 1 3 を基に平成 13 年から平成 27 年までの過去 15 年間の毎年 1～3 月の輸入総台数の推移をグラフにより示したものが図 J である。

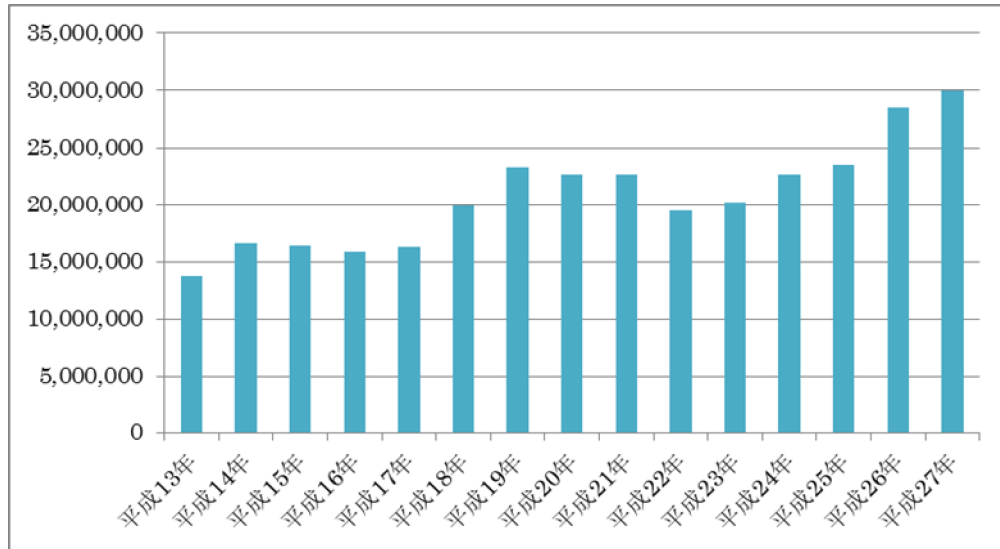
図 J 毎年 1～3 月の我が国自転車輸入総台数の過去 15 年間の推移(単位：台)
 (「その他のモーターサイクル」を含まない)



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

同様に表 1 3 を基に平成 13 年から平成 27 年までの過去 15 年間の毎年 1～3 月の輸入総 CIF 金額の推移をグラフにより示したものが図 K ある。

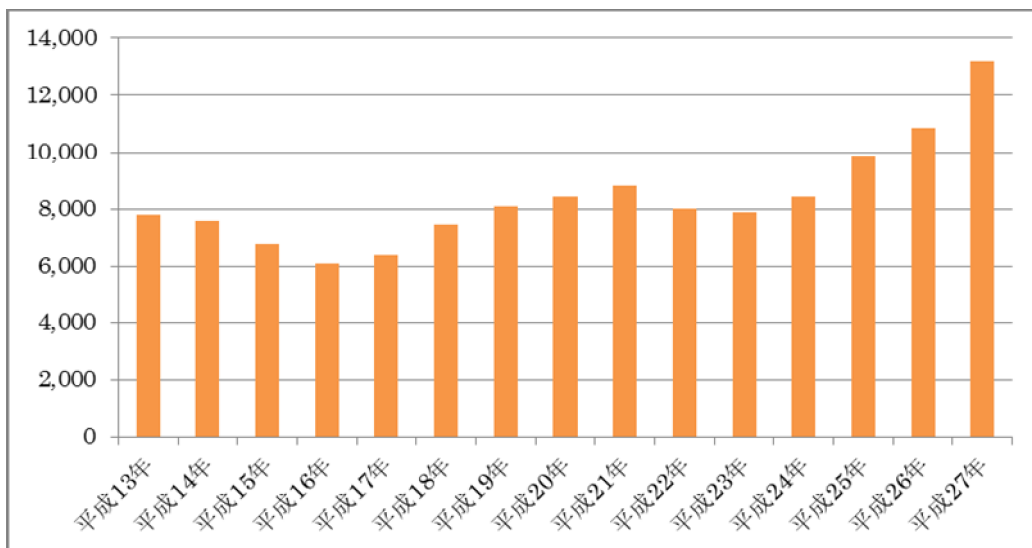
図 K 毎年 1～3 月の我が国自転車輸入総 CIF 金額の過去 15 年間の推移(単位：千円)
(「その他のモーターサイクル」を含まない)



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

更に表 1 3 を基に平成 13 年から平成 27 年までの過去 15 年間の毎年 1～3 月の輸入平均 CIF 単価の推移をグラフにより示したものが図 L ある。

図 L 毎年 1～3 月の我が国自転車輸入平均 CIF 単価の過去 15 年間の推移(単位：円)
(「その他のモーターサイクル」を含まない)



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

次に月毎の輸入台数の過去 15 年間の推移を示したものが表 1 4 である。毎年 3 月の輸入台数の推移をみると、平成 27 年 3 月の輸入台数は過去 15 年間で最低となっていることがわかる。

表 1 4 月毎の総輸入台数（「その他のモーターサイクル」を含まない）の過去 15 年間の推移（単位：台）

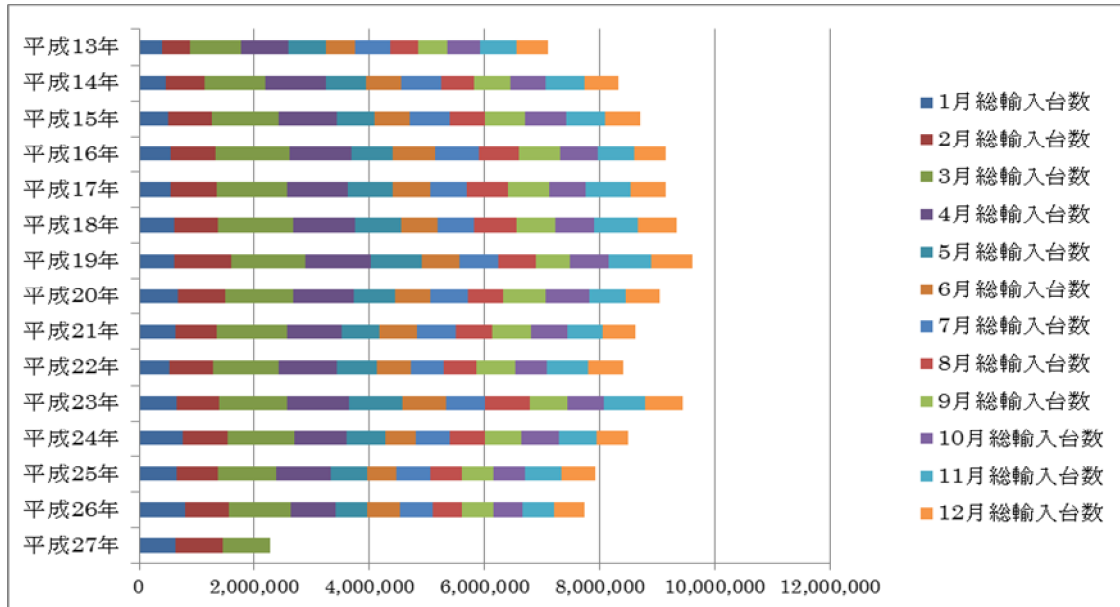
年	1月総輸入台数	2月総輸入台数	3月総輸入台数	4月総輸入台数	5月総輸入台数	6月総輸入台数
平成 27 年	639,107	809,453	828,696			
平成 26 年	800,012	758,904	1,067,576	783,049	546,090	581,432
平成 25 年	646,439	729,345	997,586	949,665	634,542	514,285
平成 24 年	759,838	779,645	1,156,072	904,565	672,252	525,908
平成 23 年	661,234	725,936	1,192,986	1,067,890	915,243	768,659
平成 22 年	529,116	759,113	1,140,340	1,002,806	691,515	600,223
平成 21 年	631,533	717,828	1,226,863	932,220	660,802	652,693
平成 20 年	679,048	809,921	1,195,076	1,041,042	718,439	623,626
平成 19 年	613,892	988,006	1,275,167	1,152,734	890,124	644,144
平成 18 年	602,545	765,063	1,303,124	1,075,231	796,610	633,795
平成 17 年	541,343	796,348	1,226,300	1,056,187	777,336	669,039
平成 16 年	556,120	767,570	1,280,277	1,081,557	727,411	723,301
平成 15 年	504,267	764,381	1,145,964	1,015,772	655,917	610,329
平成 14 年	462,594	682,561	1,051,785	1,037,903	705,257	618,883
平成 13 年	402,134	489,191	875,729	821,736	646,209	520,779

年	7月総輸入台数	8月総輸入台数	9月総輸入台数	10月総輸入台数	11月総輸入台数	12月総輸入台数	総輸入台数
平成 27 年							2,277,256
平成 26 年	572,129	504,218	543,409	502,832	540,165	534,548	7,734,364
平成 25 年	595,336	535,046	561,806	528,767	640,332	599,246	7,932,395
平成 24 年	586,024	629,284	631,719	642,217	649,625	562,295	8,499,444
平成 23 年	675,783	776,045	655,654	629,958	722,052	659,152	9,450,592
平成 22 年	562,581	582,646	663,734	546,459	719,973	603,440	8,401,946
平成 21 年	685,910	619,872	677,716	623,646	620,796	571,838	8,621,717
平成 20 年	646,395	612,531	729,659	770,349	625,626	582,061	9,033,773
平成 19 年	672,070	649,954	586,098	688,807	741,855	700,463	9,603,314
平成 18 年	643,767	724,797	673,445	684,487	767,415	668,893	9,339,172
平成 17 年	626,723	720,123	708,659	631,378	780,371	610,012	9,143,819
平成 16 年	755,089	715,190	699,179	653,057	648,234	531,426	9,138,411
平成 15 年	694,160	623,008	684,831	710,079	691,745	602,173	8,702,626
平成 14 年	678,438	585,452	634,374	597,460	671,907	599,479	8,326,093
平成 13 年	597,110	492,476	508,814	557,178	635,910	544,374	7,091,640

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表 1 4 の月毎の総輸入台数の過去 15 年間の推移をグラフにより示したものが図 M である。

図 M 月毎の総輸入台数の過去 15 年間の推移 (単位: 台)
(「その他のモーターサイクル」を含まない)



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表 15 は、毎年 1～3 月の我が国の車種別の自転車輸入台数の過去 15 年間の推移について示したものである。

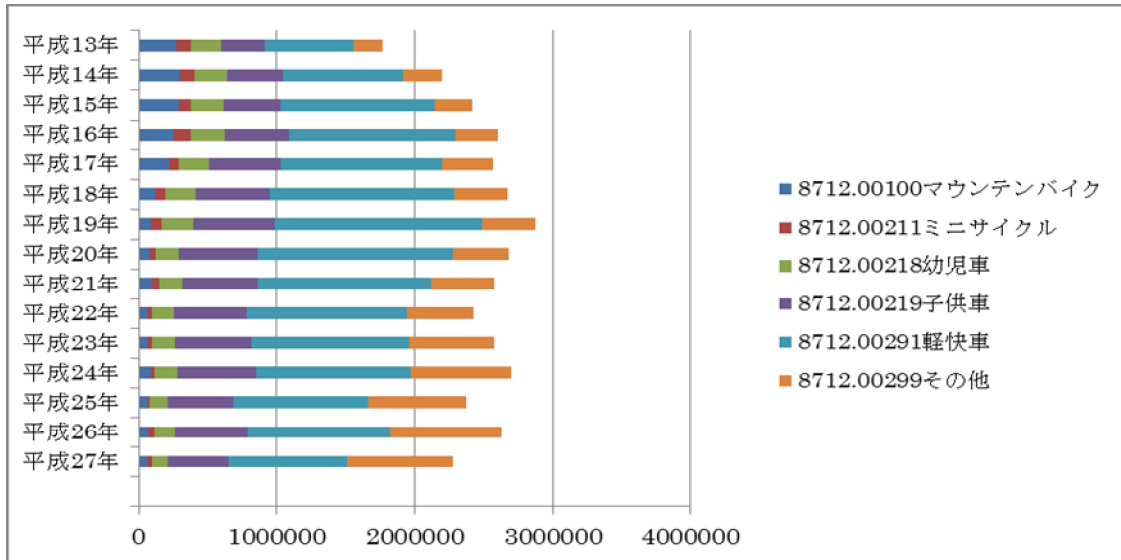
表 15 毎年 1～3 月の我が国の車種別自転車輸入台数の過去 15 年間の推移 (単位: 台)
(「その他のモーターサイクル」を含まない)

	8712.00100 マウンテン バイク	8712.00211 ミニ サイクル	8712.00218 幼児車	8712.00219 子供車	8712.00291 軽快車	8712.00299 その他	計
平成 27 年	57,459	36,331	115,495	441,698	857,838	768,435	2,277,256
平成 26 年	73,179	40,807	152,613	522,810	1,029,951	807,132	2,626,492
平成 25 年	57,955	18,262	131,559	474,305	982,149	709,140	2,373,370
平成 24 年	87,062	24,657	171,652	565,515	1,119,749	726,920	2,695,555
平成 23 年	63,603	33,548	164,291	551,849	1,150,866	615,999	2,580,156
平成 22 年	59,489	38,452	156,636	530,318	1,160,841	482,833	2,428,569
平成 21 年	97,986	50,097	165,108	551,110	1,258,515	453,408	2,576,224
平成 20 年	78,379	47,352	167,448	563,993	1,416,437	410,436	2,684,045
平成 19 年	88,125	75,520	231,083	591,808	1,503,365	387,164	2,877,065
平成 18 年	121,249	75,377	215,316	537,198	1,334,396	387,146	2,670,682
平成 17 年	219,677	72,011	219,366	518,450	1,166,989	367,498	2,563,991
平成 16 年	257,211	120,358	247,804	464,691	1,202,050	311,853	2,603,967
平成 15 年	288,655	86,808	235,896	419,564	1,113,661	270,028	2,414,612
平成 14 年	301,408	100,435	235,384	405,757	876,882	277,074	2,196,940
平成 13 年	269,870	108,893	221,267	315,333	641,858	209,833	1,767,054

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

これらの模様をグラフで示すと図Nのようになる。

図N 毎年1～3月の我が国の車種別自転車輸入台数の過去15年間の推移（単位：台）
（「その他のモーターサイクル」を含まない）



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

次に参考まで毎年1～3月の我が国の「その他のモーターサイクル」の輸入の過去15年間の推移を表16に示す。

表16 参考 毎年1～3月の我が国の「その他のモーターサイクル」の輸入の過去15年間の推移

年	総輸入台数	総CIF金額(千円)	平均CIF単価(円)
平成27年	11,581	461,264	39,829
平成26年	15,612	616,140	39,466
平成25年	17,521	569,147	32,484
平成24年	8,647	265,723	30,730
平成23年	17,960	447,823	24,934
平成22年	22,485	551,192	24,514
平成21年	18,255	428,308	23,463
平成20年	15,102	352,605	23,348
平成19年	14,080	482,264	34,252
平成18年	17,245	336,069	19,488
平成17年	23,683	410,785	17,345
平成16年	33,646	438,920	13,045
平成15年	57,169	519,573	9,088
平成14年	17,029	252,662	14,837
平成13年	3,286	113,942	34,675

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

3-4 我が国の自転車輸入における主要供給元

平成27年1～3月の我が国の自転車輸入に関し、その主要供給元を示したものが表17である。

表17 平成27年1～3月の我が国の完成自転車輸入 主要供給元
(「その他のモーターサイクル」を含まない)

供給元	台数	輸入総台数に占める割合(%)	CIF金額(千円)	輸入総金額に占める割合(%)	平均CIF単価(円)
中華人民共和国	2,192,041	96.3	25,534,493	85.1	11,649
台湾	79,545	3.5	4,133,719	13.8	51,967
その他	5,670	0.2	353,288	1.2	62,308
計	2,277,256	100.0	30,021,500	100.0	13,183

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

引き続き「中華人民共和国」が最大の供給元となっている。総台数の96.3%、総CIF金額の85.1%を占めている。平均CIF単価は11,649円であった。これに次ぐのが「台湾」で、総台数の3.5%、総CIF金額の13.8%を占め、平均CIF単価は51,967円である。これら2つの国・地域で総台数の99.8%、総CIF金額の98.8%を占めている。

「中華人民共和国」からの車種別輸入状況は表18のようになっている。

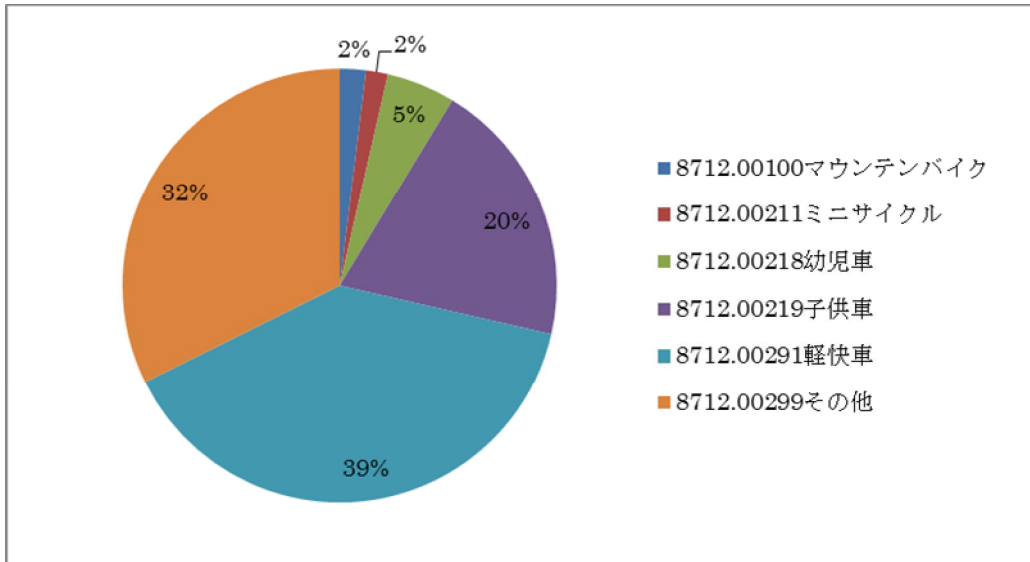
表18 平成27年1～3月の我が国の「中華人民共和国」からの完成自転車輸入
(「その他のモーターサイクル」を含まない)

関税番号及び車種	台数(台)	総CIF金額(千円)	平均CIF単価(円)
8712.00100 マウンテンバイク	42,560	836,674	19,659
8712.00211 ミニサイクル	35,831	399,823	11,159
8712.00218 幼児車	112,026	851,681	7,603
8712.00219 子供車	436,040	4,654,482	10,674
8712.00291 軽快車	857,205	9,843,920	11,484
8712.00299 その他	708,379	8,947,913	12,632
計	2,192,041	25,534,493	11,649

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表18に示した平成27年1～3月の「中華人民共和国」からの自転車輸入について車種別の台数割合をグラフにより示したものが図Oである。「軽快車」が39%を占め、次いで「その他」が32%を占めている。「中華人民共和国」からの輸入台数が非常に多いため、我が国の全体の車種別輸入台数割合を示した図Hと似た状態が示されている。

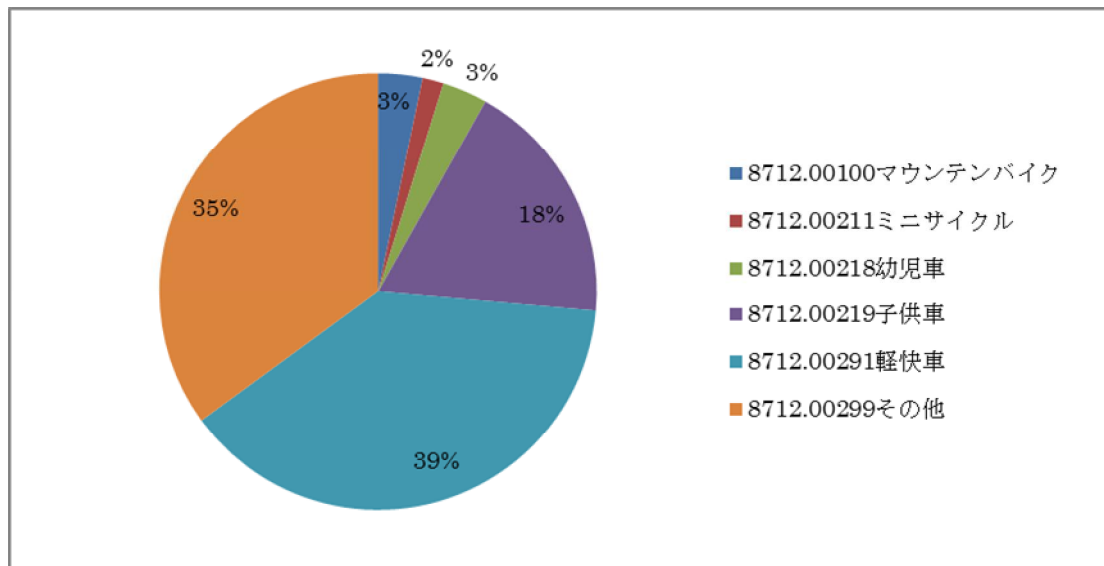
図 O 平成 27 年 1～3 月の我が国の「中華人民共和国」からの自転車輸入
車種別台数割合（「その他のモーターサイクル」を含まない）



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

同様に表 1 8 に示した平成 27 年 1～3 月の「中華人民共和国」からの自転車輸入について、車種別の金額割合をグラフにより示したものが図 P である。「軽快車」が 39% を占め、次いで「その他」が 35% を占めている。

図 P 平成 27 年 1～3 月の我が国の「中華人民共和国」からの自転車輸入
車種別 CIF 金額割合（「その他のモーターサイクル」を含まない）



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

続いて「台湾」からの車種別輸入状況を示すと表19のようになっている。

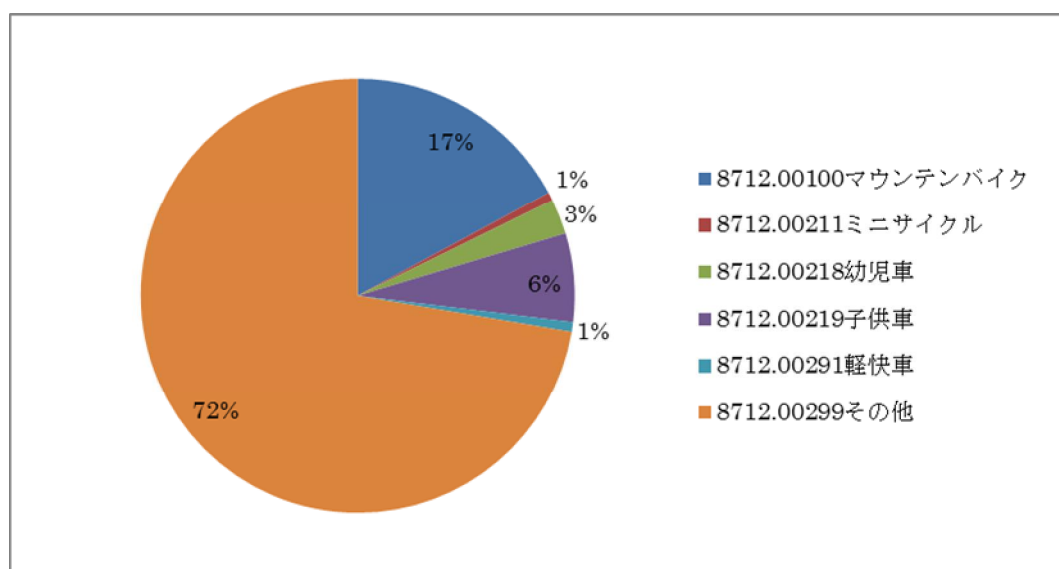
表19 平成27年1~3月の我が国の「台湾」からの完成自転車輸入
（「その他のモーターサイクル」を含まない）

関税番号及び車種	台数(台)	総CIF金額(千円)	平均CIF単価(円)
8712.00100 マウンテンバイク	13,601	563,667	41,443
8712.00211 ミニサイクル	491	15,890	32,363
8712.00218 幼児車	2,093	18,292	8,740
8712.00219 子供車	5,249	90,900	17,318
8712.00291 軽快車	571	27,956	48,960
8712.00299 その他	57,540	3,417,014	59,385
計	79,545	4,133,719	51,967

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表19に示した平成27年1~3月の「台湾」からの自転車輸入について車種別の台数割合をグラフにより示したものが図Qである。全体の輸入状況を表した図Hや「中華人民共和国」からの輸入状況を示した図Oとは全く異なり、「その他」が72%、「マウンテンバイク」が17%と大きな割合を占める一方で、「軽快車」は僅か1%を占めるにすぎない状況となっている。

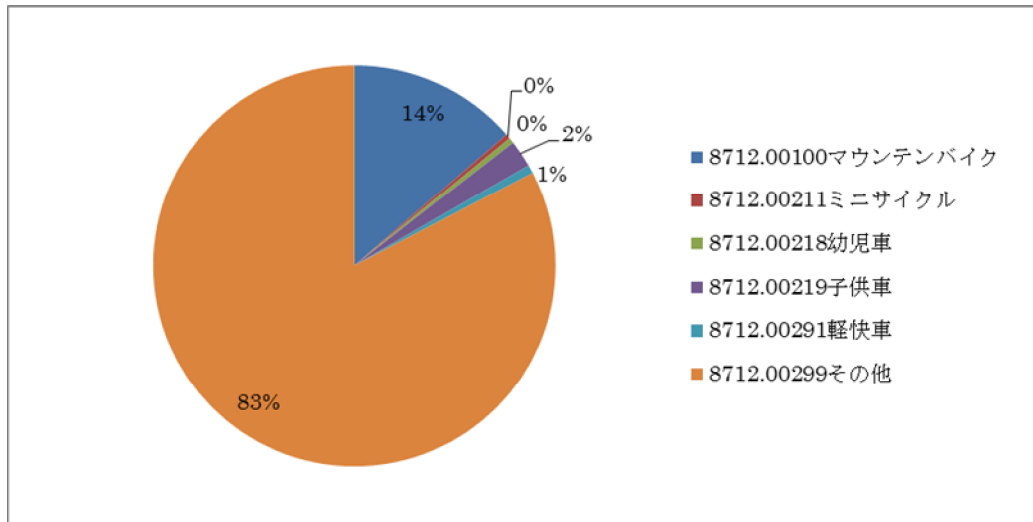
図Q 平成27年1~3月の我が国の「台湾」からの自転車輸入 車種別台数割合
（「その他のモーターサイクル」を含まない）



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

更に表19に示した平成27年1~3月の「台湾」からの自転車輸入について、車種別の金額割合をグラフにより示したものが図Rである。台数割合の場合より特徴が一層顕著に表れており「その他」が83%を占めるに及んでいる。次いで「マウンテンバイク」が14%を占め、「軽快車」はやはり1%を占めるに過ぎない。

図 R 平成 27 年 1～3 月の我が国の「台湾」からの自転車輸入 車種別 CIF 金額割合
 (「その他のモーターサイクル」を含まない)



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

続いて参考まで平成 27 年 1～3 月の我が国の「その他のモーターサイクル」の輸入に関し、その主要供給元を表 20 に示す。

表 20 参考 平成 27 年 1～3 月の我が国の「その他のモーターサイクル」の
 輸入主要供給元 平成 26 年 1～3 月との比較

供給元	台数	輸入総台数に占める割合 (%)	CIF 金額 (千円)	輸入総金額に占める割合 (%)	平均 CIF 単価(円)
平 27.1～3 中華人民共和国	11,490	99.2	425,968	92.3	37,073
平 26.1～3 中華人民共和国	15,397	98.6	590,207	95.8	38,333
変化	-3,907	0.6	-164,239	-3.4	-1,260
平 27.1～3 台湾	39	0.3	7,843	1.7	201,103
平 26.1～3 台湾	191	1.2	16,840	2.7	88,168
変化	-152	-0.9	-8,997	-1.0	112,935
平 27.1～3 その他	52	0.4	27,453	6.0	527,942
平 26.1～3 その他	24	0.2	9,093	1.5	378,875
変化	28	0.3	18,360	4.5	149,067
平 27.1～3 計	11,581	100.0	461,264	100.0	39,829
平 26.1～3 計	15,612	100.0	616,140	100.0	39,466
変化	-4,031	0.0	-154,876	0.0	364

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会
 尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

4. 国内向け数量

我が国の完成自転車輸出はその殆ど全てが中古車の途上国向け輸出であるため、「生産台数」と「輸入台数」の合計が「国内向け数量」と考えられる。毎年1～3月の「国内向け数量」について、生産台数と輸入台数の相互比較が可能な過去10年間の推移を表2-1に示す。生産台数・輸入台数とも過去10年間で最も少なくなったため、平成27年1～3月の「国内向け数量」も過去10年間で最低となっている。また国内生産比率は9.9%であった。

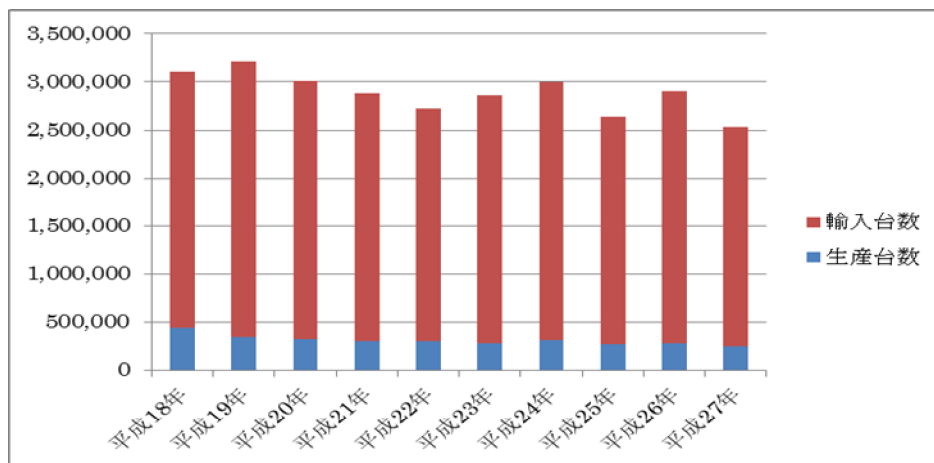
表2-1 毎年1～3月の我が国完成自転車の国内向け数量の過去10年間の推移
(生産台数には「電動アシスト車」を含み、
輸入台数には「その他のモーターサイクル」を含まない)

年	生産台数	輸入台数	国内向け数量	国内生産の比率%
平成27年	249,855	2,277,256	2,527,111	9.9
平成26年	278,336	2,626,492	2,904,828	9.6
平成25年	264,751	2,373,370	2,638,121	10.0
平成24年	308,426	2,695,555	3,003,981	10.3
平成23年	283,461	2,580,156	2,863,617	9.9
平成22年	299,871	2,428,569	2,728,440	11.0
平成21年	302,897	2,576,224	2,879,121	10.5
平成20年	324,543	2,684,045	3,008,588	10.8
平成19年	338,671	2,877,065	3,215,736	10.5
平成18年	435,978	2,670,682	3,106,660	14.0

出典：経済産業省生産動態統計調査（平成26年以前の数値は改定値）、
財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

これらの模様をグラフにより示したものが図Sである。

図S 毎年1～3月の我が国完成自転車の国内向け数量の過去10年間の推移
(生産台数には「電動アシスト車」を含み、
輸入台数には「その他のモーターサイクル」を含まない)



出典：経済産業省生産動態統計調査（平成26年以前の数値は改定値）、
財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

5. 我が国の自転車輸出

我が国の自転車輸出は途上国向けの中古自転車が殆どである。平成 27 年 3 月の我が国自転車輸出の主な仕向け先を表 2 2 に示す。平均 FOB 単価を見ればこれらの自転車輸出は中古自転車輸出である事は明らかである。尚、輸出に関する分析では「その他のモーターサイクル」は対象から除外している。

表 2 2 平成 27 年 3 月 主要仕向け先別の我が国の完成自転車輸出

仕向け先国・地域	総台数	総 FOB 金額 (千円)	平均 FOB 単価(円)
ミャンマー	44,120	69,438	1,574
ガーナ	39,099	63,012	1,612
カンボジア	37,953	64,518	1,700
アフガニスタン	35,902	59,730	1,664
UAE	26,917	51,852	1,926
タンザニア	22,962	33,658	1,466
タイ	19,158	51,740	2,701
ナイジェリア	8,421	17,165	2,038
フィリピン	7,642	11,332	1,483
香港	6,025	14,702	2,440
その他	26,182	69,835	2,667
計	274,381	506,982	1,848

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表 2 3 に平成 13 年から平成 27 年までの過去 15 年間の毎年 1～3 月の我が国自転車輸出の推移を示す。総台数・総金額ともに増加傾向にあり平成 27 年 1～3 月は過去 15 年間で最高となっている。平成 27 年 1～3 月の平均 FOB 単価は 1,787 円で、これも過去 15 年間で最高となっている。

表 2 3 毎年 1～3 月の我が国自転車輸出の過去 15 年間の推移 全車種

年	総台数	総 FOB 金額 (千円)	平均 FOB 単価(円)
平成 27 年	803,736	1,436,202	1,787
平成 26 年	729,651	1,075,151	1,474
平成 25 年	722,752	939,012	1,299
平成 24 年	699,859	901,501	1,288
平成 23 年	557,747	743,842	1,334
平成 22 年	555,117	745,569	1,343
平成 21 年	492,380	673,801	1,368
平成 20 年	554,131	928,910	1,676
平成 19 年	386,012	467,747	1,212
平成 18 年	304,033	323,202	1,063
平成 17 年	224,636	256,521	1,142
平成 16 年	236,936	281,915	1,190
平成 15 年	161,964	213,115	1,316
平成 14 年	152,603	204,930	1,343
平成 13 年	133,335	205,255	1,539

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

以 上